

Express5800/T110k-M, T110k-M(2nd-Gen)

2.5 型 SAS HDD/SSD 搭載時に冷却ファンが高速で動作し、音圧レベルが高くなる事象について

日頃より、NEC Express5800シリーズサーバーをご愛用いただき、厚く御礼申し上げます。

以下の対象装置において、冷却ファンが高速で動作する事象が確認されています。

本事象について案内いたしますので、ご確認いただけますようお願いいたします。

1. 対象環境

[対象本体装置]

モデル名	型名	製品名称
Express5800/T110k-M	N8100-3000Y	8x2.5型ドライブモデル(SAS/SATA)
Express5800/T110k-M(2nd-Gen)	N8100-3016Y	8x2.5型ドライブモデル(SAS/SATA)

[発生条件]

2.5型SAS HDD/SSDを複数台搭載

2. 事象内容

冷却ファンが高速で動作し、音圧レベルが高くなることがあります。

3. 対処方法

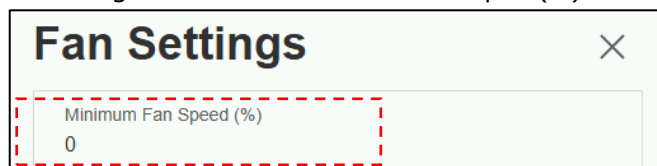
音圧レベルを低く抑えたい場合、以下の対応をご検討ください。

- ① 静音が求められる環境に設置する場合、2.5 型SAS HDD/SSDを搭載する際には、工場出荷後にドライブ間隔を空けて搭載することで、音圧レベルを抑えることができます。
- ② 間隔を空けても稼働時のファンの音が気になる場合は SAS HDD/SAS SSD の冷却が不十分である可能性があります。対処方法として、以下(1)～(5)に示す手順により、最小ファン速度の回転数を調整することで冷却効率を改善できます。これは、最小ファン速度を上げることによって定常的に冷却効果が高まり、急激なファン変動が少なくなり、ファンの音が気になることを低減する効果があります。最小ファン速度の変更方法は「ILO6 ユーザズガイド」の「12.電力および温度機能の使用」の「ファン情報の表示」を参照し、以下の手順で行ってください。

- (1) [Power & Thermal]ページに移動し、[Fans]タブをクリックします。
- (2) Summary のペンマークをクリックします。



- (3) Fan Settings の画面が開くので、Minimum Fan Speed(%)の欄に設定値を入力します。

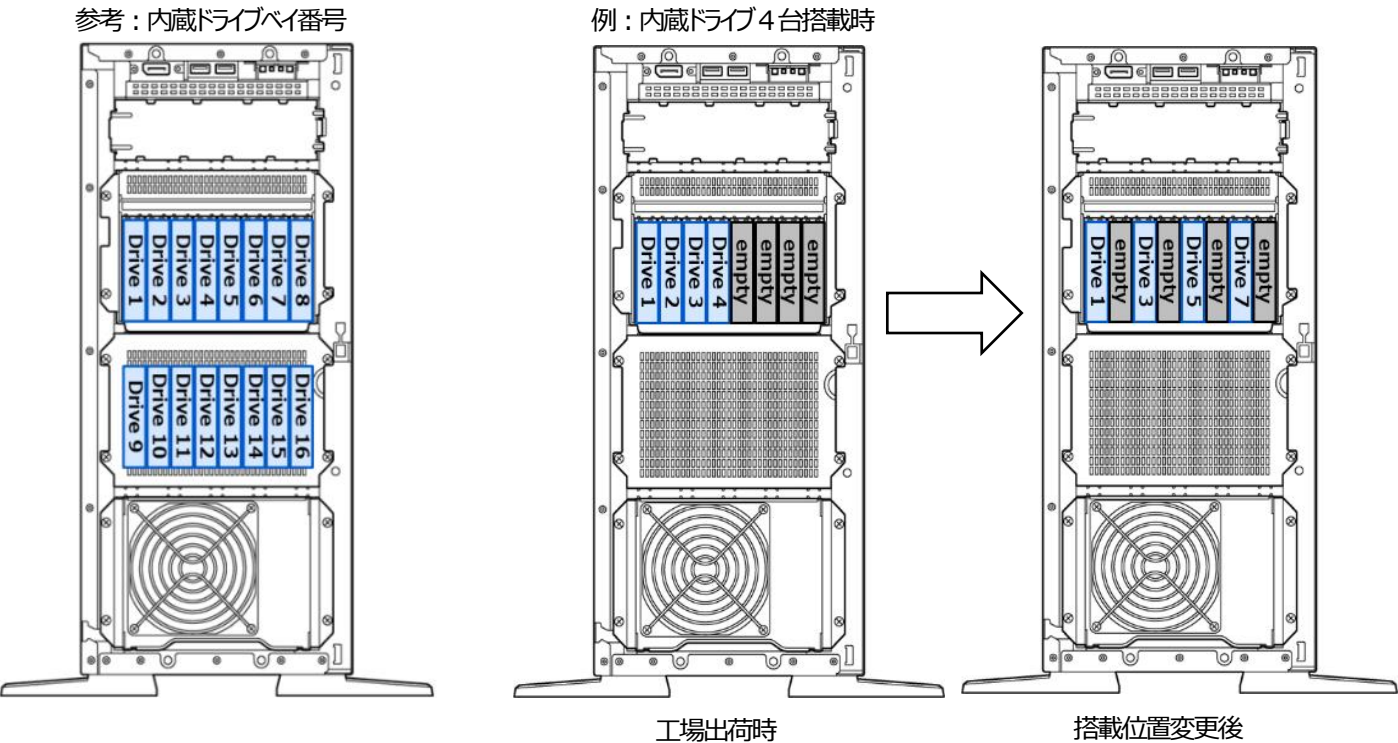


Minimum Fan Speedの設定値は20%～30%の範囲内で入力し、稼働時のファンの音が気にならない最適値を見つけてください。なお、設定変更後はアイドル時のファンの音圧レベルが設定前よりも高くなることをご承知ください。

- (4) Fan Settings 画面のを×マークを押し、Fan Settings を閉じます
- (5) [Fans]タブをクリックし、設定した速度に変更されていることを確認します。

- ③ より静音が求められる環境に設置される場合には、2.5 型SATA SSDの搭載をご検討ください。

以下に、想定される設置環境と搭載台数に応じた推奨搭載位置を記載していますので参照してください。
なお、増設するドライブ数によっては追加のドライブケースケーブルが必要になる場合がありますのでご注意ください。



工場出荷時の SAS HDD/SSD 搭載台数	設置環境と搭載台数に応じた推奨搭載位置		
	病院や図書館など 静かな環境に設置	一般事務室に設置	サーバールームに設置
1 台	工場出荷時の搭載位置	工場出荷時の搭載位置	工場出荷時の搭載位置
2 台	1, 3	工場出荷時の搭載位置	工場出荷時の搭載位置
3 台	1, 3, 5	工場出荷時の搭載位置	工場出荷時の搭載位置
4 台	1, 3, 5, 7	工場出荷時の搭載位置	工場出荷時の搭載位置
5 台	1, 3, 4, 6, 8	工場出荷時の搭載位置	工場出荷時の搭載位置
6 台	1, 3, 5, 7, 9, 11 (注1)	1, 2, 4, 5, 7, 8	工場出荷時の搭載位置
7 台	1, 3, 5, 7, 9, 11, 13 (注1)	1, 3, 5, 7, 9, 11, 13 (注1)	工場出荷時の搭載位置
8 台	1, 3, 5, 7, 9, 11, 13, 15 (注1)	1, 3, 5, 7, 9, 11, 13, 15 (注1)	工場出荷時の搭載位置
9 台	1, 3, 4, 6, 8, 9, 11, 13, 15	1, 3, 4, 6, 8, 9, 11, 13, 15	工場出荷時の搭載位置
10 台	1, 3, 4, 6, 8, 9, 11, 12, 14, 16	1, 3, 4, 6, 8, 9, 11, 12, 14, 16	工場出荷時の搭載位置
11 台	SATA SSDの搭載必須	1, 2, 4, 5, 7, 8, 9, 11, 12, 14, 16	工場出荷時の搭載位置
12 台	SATA SSDの搭載必須	1, 2, 4, 5, 7, 8, 9, 10, 12, 13, 15, 16	工場出荷時の搭載位置
13 台	SATA SSDの搭載必須	SATA SSDの搭載必須	工場出荷時の搭載位置
14 台	SATA SSDの搭載必須	SATA SSDの搭載必須	工場出荷時の搭載位置
15 台	SATA SSDの搭載必須	SATA SSDの搭載必須	工場出荷時の搭載位置
16 台	SATA SSDの搭載必須	SATA SSDの搭載必須	工場出荷時の搭載位置

注 1 : SAS HDD/SSDの場合、8台以下（ドライブケース1段での収納可能）の構成でも、静音対応の際は下記の増設ドライブケース、16ポートRAIDコントローラ、内蔵SAS/SATAケーブル、およびRAIDの再構築/OSの再インストールが必要になります。

種類	対象製品
増設ドライブケース	N8154-183 8x2.5 型ドライブケース(SAS/SATA)
16ポートRAIDコントローラ (※いずれかを選択)	N8103-244 RAIDコントローラ(SR, 8GB, RAID 0/1/5/6, OCP)
	N8103-248 RAIDコントローラ(MR, RAID 0/1, OCP)
	N8103-250 RAIDコントローラ(MR, 8GB, RAID 0/1/5/6, OCP)
内蔵SAS/SATAケーブル	K410-528(00) 内蔵SAS/SATAケーブル

※ 注意事項 [RAIDコントローラ(8Port)を2枚実装し運用中のお客様]

既にRAIDコントローラ(8Port)を2枚実装しご利用中の場合には、下記の事項について注意をお願いします。

PCIスロット型のRAIDコントローラ(N8103-245またはN8103-252)をサーバに2枚実装している場合、それぞれの増設ケース(N8154-183)に実装されたドライブを制御するRAIDコントローラは下記の通りです。

Drive 1～8を制御するコントローラ : 1枚目のRAIDコントローラ

Drive 9～16を制御するコントローラ : 2枚目のRAIDコントローラ

このため、Drive 1～8に搭載したドライブをDrive 9～16の位置に移設すると、制御するRAIDコントローラが異なるためにRAID構成を維持できません。このケースに該当する場合は、上記の増設ドライブケース、16ポートRAIDコントローラ、内蔵SAS/SATAケーブル、およびRAIDの再構築/OSの再インストールが必要になります。

以上